

平成25年度事業報告及び決算報告について

第1 事業の概要

本道の酪農畜産は、豊かな土地資源などを背景に規模拡大を進め、順調に発展してきた。しかし、近年、担い手の高齢化や労働力不足等の問題が顕在化し、日豪EPAの大筋合意、TPP交渉参加等、国際化が進展する中で、将来の見通しが非常に不透明になっている。

さらに、最近の円安の状況から配合飼料価格や燃料、生産資材価格等の高止まり、素牛や初妊牛価格の高騰、豚流行性下痢（PED）の発生など、本道の酪農畜産は目まぐるしい情勢の変化とともに厳しい状況に直面しており、将来に向けた安定的な畜産経営のための体質強化が重要な課題となっている。

こうした状況の中、本協会は一般社団法人として新たなスタートを切り、北海道における酪農畜産の生産振興を推進するため、経営診断指導の実施や情報提供をはじめ、生産技術等の向上や経営の体質強化に資する助成事業の実施、生産者等組織の活動支援、黒毛和種を中心とした家畜の改良情報の提供など、各般にわたる事業を効率的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 18,891千円）

畜産の担い手育成・確保増強に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業：畜産経営技術高度化対策（北海道/補助 4,331千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等、総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援：35件

(3) 和牛繁殖経営支援指導事業

和牛繁殖農家の安定した経営を確立するため、経営管理と生産技術についての支援指導を行った。

3年間継続実施：4件

(4) 酪農経営支援システム管理運営事業

対象農家について、農協・関係機関よりデータを収集し、その分析結果を現地で説明するとともに地域で開催される研修会等に参画し、農協等による営農指導を支援した。

利用農協数：23農協 分析件数：1,658件

(5) 畜産特別資金等推進指導事業 (中央畜産会/補助 22,341 千円)

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導の実施及び融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

・都道府県支援推進協議会等の開催	15 回
・融資機関等を対象とした研修会	8 回
・融資機関等への巡回指導	7 箇所
・経営改善計画作成・見直し及び達成指導	562 件
・借受者に対する濃密指導	16 件

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛産地高度化 (北海道・ホクレン農協連・

ジェネティクス北海道/補助他 14,545 千円)

牛枝肉品質評価活用対策

牛肉の美味しさに関する方向性を検討し、北海道和牛ブランド化に向けた取り組みを推進した。

・情報等の活用検討委員会の開催	3 回 (札幌市)
・先進事例調査	3 回 (兵庫県・大分県・鳥取県)
・官能評価試験の実施	4 回 (札幌市・帯広市・釧路市)
・高能力繁殖雌牛の利活用の推進	100 頭 / 1 頭あたり : 15 千円
・牛肉等の肥育データ収集	200 頭 / 1 頭あたり : 20 千円

牛肉の販売モデル集団への助成 5 集団

牛肉の美味しさに関するデータなどを活用した、牛肉の付加価値向上に向けた生産者集団の活動に対し支援した。

新規種雄牛の早期交配を推進するための助成

新規種雄牛の市場性を高めるため、早期交配を促進し、生産子牛の発育成績や枝肉成績の提供による支援を行った。

・新規種雄牛早期交配推進助成	48 頭 / 1 頭あたり : 30 千円
----------------	-----------------------

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業 (農畜産業振興機構/補助 95,188 千円)

肉用牛生産基盤強化対策事業

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取り組みに対し支援を行った。

・繁殖雌牛の増頭に対する助成	240 頭 / 1 頭あたり : 80 千円
・肉用牛ヘルパー活動に対する助成 (1/2)	16 利用組合
・簡易牛舎等の整備に対する助成 (1/2)	68 件

地域の特色ある肉用牛振興対策事業

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取り組みに対し支援を行った。

・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する対策助成	155 頭 / 1 頭あたり : 11 千円
-----------------------	------------------------

(3) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、生産者や技術者等を対象とした飼養管理や改良増殖技術の向上のための研修会の開催、優良な家畜及び枝肉の展示評価を通じて資質向上を図るための共進会・共励会の後援・協賛などを行った。

また、生産者及び関係団体に対し、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理改善の指導等に資する情報提供を行った。

肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛審査競技会 1回(安平町)
- ・和牛振興委員研修会 1回(札幌市)
- ・和牛生産農家後継者研修会 1回(札幌市)
- ・和牛女性部研修会 2回(音更町・札幌市)

家畜共進会、肉牛枝肉共励会の後援・協賛等 45回

全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会

- ・直接検定(開始・終了) 3回

家畜改良事業団主催の現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会

- ・現場後代検定(前期7回・後期7回) 14回

家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の実施 30回

ホームページによる肉牛改良情報の提供 15,863件(アクセス件数)

(4) 肉用種雄牛管理事業

肉用牛経営の体質強化に資するため、北海道が所有する肉用種雄牛を現地に配置し、その管理を委託した。

〔管理委託頭数〕

(単位：頭)

区分	前年度末	返納等	年度末	貸付先
黒毛和種	7	-	7	ホクレン岩見沢・稚内・函館・本所十勝農協連
アングス種	14	7	7	JA北オホーツク(雄武町)根室生産連
計	21	7	14	

(5) 豚登録改良事業

豚の登記・登録を実施することにより、品種の証明を行い、育種改良及び遺伝子能力評価のデータを効率的に収集した。また、豚枝肉展示評価を通じて飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、枝肉共励会を後援した。

〔実績件数〕

(単位：件・%)

区分	子豚登記	種豚登録	一腹記録証明
件数	381	295	253
前年度対比	65.5	74.7	98.4

(6) 強い農業づくり事業：めん羊等推進事業（北海道/補助 232 千円）

優良な系統の普及・啓発を推進するとともに、種雄羊の供給体制の確立及び飼養管理技術等の向上を図るため協議会・研修会を開催した。

研修会の開催 2回（札幌市・士別市）

(7) めん羊登録改良事業

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

また、優良なめん羊の展示評価を通じ、飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、共進会を後援した。

〔実績件数〕

（単位：件・％）

区 分	登 録		証 明	
	血 統	予 備	出 生	血 統
件 数	385	2	2,276	70
前年度対比	81.2	2.5	100.9	152.2

(8) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖を推進することにより、和牛生産基盤の充実と経営安定に資する活動を行った。

北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取り組みを行った。

北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取り組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、各種イベント等を企画し、道産牛肉のPRに努めた。

北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、道内におけるあか牛の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携をとりながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術発表会の開催などの取り組みを行った。

北海道地方公営競馬振興協議会

道内における地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓蒙を図るための支援を行った。

北海道自給飼料改善協議会

道内における自給飼料基盤の向上及び改善のための調査や研修会の開催などの取り組みを行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定のため、次の事業を行った。

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農畜産業振興機構他/補助他 100,712千円）

肥育牛経営の安定を図るため、農畜産業振興機構からの補助金及び肥育牛生産者からの積立金により肥育安定基金を造成し、牛枝肉価格等の変動により肥育牛経営の経営収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対する補填を行った。

〔積立金単価〕

（単位：円）

品種区分	生産者	補助金	合計
肉専用種	18,000	54,000	72,000
交雑種	30,000	90,000	120,000
乳用種	25,000	75,000	100,000

〔基金造成実績〕

（単位：円）

品種区分	基金造成額			
	生産者積立金	補助金	運用益	計
肉専用種	521,694,000	1,565,838,000	490,138	2,088,022,138
交雑種	1,226,340,000	3,681,270,000	812,541	4,908,422,541
乳用種	2,863,200,000	8,593,500,000	1,300,919	11,458,000,919
合計	4,611,234,000	13,840,608,000	2,603,598	18,454,445,598

〔補填金単価〕

（単位：円）

品種区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
肉専用種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交雑種	38,700	33,900	35,200	65,400	62,800	53,500	40,000	14,200	6,900	40,700	47,400	60,000
乳用種	63,900	56,000	45,700	43,200	48,600	45,500	41,700	41,400	45,300	42,600	51,900	61,300

〔補填金交付実績〕

(単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	補填金額		
		生産者積立金	補助金	計
肉専用種	-	-	-	-
交雑種	39,581	402,597,850	1,207,793,550	1,610,391,400
乳用種	115,546	1,413,064,475	4,239,331,125	5,652,395,600
合計	155,127	1,815,662,325	5,447,124,675	7,262,787,000

(2) 被災畜産農家支援活動事業(畜産経営支援協議会/補助 6,393 千円)

平成 23 年度に肉用牛肥育経営者に交付した緊急支援金の返還に係る業務を行った。

また、資金繰り等で返還が困難な生産者について、支払計画を策定することなどにより返還を推進した。

〔返還状況〕

(単位：戸・千円・%)

区分	戸数	交付金額	返還額	未返還額	返還率
交付実績	322	9,320,300	8,119,064	1,201,236	87.1
全額返還	245	6,265,500	6,265,500	-	
一部返還	77	3,054,800	1,853,564	1,201,236	

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や、畜産物の消費拡大を図るため、消費者に対し P R 活動・情報提供を行った。

(1) 北海道産牛肉情報公開システム管理運営事業

肉用牛の生産履歴等を公開する「北海道産牛肉情報公開システム」の維持・管理及び農協・関係機関等協力のもと、生産農家への普及啓発により更なる利用促進を図った。

利用農家：131 戸

(2) 畜産フェア普及特別対策事業(地方競馬全国協会/補助 2,000 千円)

畜産物の消費・流通を促進するため、調理加工した道産畜産物等の無償配布を行った。

畜産フェア：7 回(帯広競馬場)

(3) 畜産関係団体調整機能強化事業(中央畜産会/委託 250 千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

〔実績件数〕

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	70,892	5,443
	前年度対比	103.2	74.9
褐毛和種	件 数	736	179
	前年度対比	140.7	98.4
日本短角種	件 数	108	37
	前年度対比	83.1	100.0
外 国 種	件 数	95	80
	前年度対比	158.3	83.3

○ 登録審査員の養成及び技術向上

- ・ 登記検査委員・地方審査委員合同研修会 1回(安平町)
- ・ 地方審査委員認定講習会 1回(安平町)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分	台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース 再生バルククーラー 新品バルククーラー他	23	91,657	95.2
畜産近代化リース 自給飼料生産利用機械施設 生乳生産合理化施設 畜産環境改善機械施設	74	344,192	67.7
畜産環境整備機構 経営リース たい肥調整保管施設(1/2補助付)	14 (3) (11)	180,858 (34,511) (146,347)	71.2 (29.6) (106.5)
合 計	111	616,707	71.8

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 動産担保融資支援事業

融資機関及び農協と締結した「肉用牛 A B L 協定」に基づき、肉用牛を担保に運転資金の融資を受けた農家についてモニタリングを行うとともに、その農家の経営状況を調査し、改善すべき課題に対する助言等を行った。

また、A B L 資金活用についての手法や課題を検討するため、関係機関等を参集した情報交流会を開催した。

モニタリング戸数：6件

情報交流会：1回（札幌市）

(2) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 4,167 千円）

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。

調査指導：101基

(3) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 3,463 千円）

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域：7地域

(4) 自給飼料改善指導事業（ホクレン農協連・北海道農業公社・雪印種苗/1,050 千円）

北海道自給飼料改善協議会の構成機関団体と連携して、セミナーや事例発表会を開催するなど植生改善に係る取り組みを実施した。

優良事例発表会の開催 1回（札幌市）

セミナーの開催 1回（札幌市）

(5) 植生等調査事業（日本草地畜産種子協会/委託 3,682 千円）

自給飼料生産の改善及び向上の方策を検討するため、植生の状況等を調査した。

調査件数：2,404件

(6) 褐毛和種生産費調査事業（中央畜産会/委託 880 千円）

褐毛和種経営における、飼養状況や生産費等の調査を行った。

調査件数：11件

(7) 乳用種初生牛調査事業（中央畜産会/委託 1,275 千円）

酪農経営における、乳用種初生子牛の飼養状況や生産費用等の調査を行った。

調査件数：75件

(8) 公共牧場経営診断事業（北海道/委託 945 千円）

公共牧場整備事業実施計画策定事業に併せ、公共牧場が所期の目的を達成し得るための運営方法等について分析・診断を行った。

調査牧場：1件（鹿追町）

(9) システム畜舎確立事業（中央畜産会/委託 972 千円）

災害時等の緊急時に、即時に安価に対応できる畜舎設計に資するための調査・検討会を行った。

調査件数：2件（酪農：別海町、肉用牛：長沼町）

8 北農ビル賃貸事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

平成 25 年度 通常総会

平成 25 年 6 月 19 日

〔議 事〕

- 議案第 1 号 平成 24 年度事業報告及び決算報告について
- 議案第 2 号 役員の改選について
- 議案第 3 号 平成 25 年度役員報酬について
- 議案第 4 号 平成 25 年度会費の負担及び納入について
- 報告事項 平成 25 年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会

〔第 1 回〕

平成 25 年 4 月 30 日

役員推薦委員の選任について

〔第 2 回〕

平成 25 年 6 月 7 日

平成 25 年度通常総会の提出議案について
肉用牛肥育経営安定特別対策事業の実施について

〔第 3 回〕

平成 25 年 6 月 19 日

役付理事の互選について

〔第 4 回〕

平成 25 年 12 月 13 日

平成 25 年度事業の実施状況について他

〔第 5 回〕

平成 26 年 3 月 20 日

平成 26 年度事業計画及び収支予算について
規程の新設及び一部改正について
重要な使用人の任免について
消費税増税の取扱いについて
永年勤続者の表彰について

3 監 査

監事監査

平成 25 年度監事監査（平成 24 年度決算分）

平成 25 年 6 月 5 日

内部監査

第 1 回（事業推進部、リース部）

平成 25 年 5 月 21 日～23 日

第 2 回（総務部）

平成 25 年 9 月 3 日～ 5 日

第 3 回（リース部）

平成 25 年 11 月 19 日～11 月 21 日

第 4 回（家畜登録改良部）

平成 26 年 2 月 25 日～27 日

第4 会員及び役職員数

〔会 員〕

項 目	期 首	期 中		期 末
		増	減	
会 員	216	-	-	214
市町村	72	-	-	72
農 協	86	-	-	86
団体等	58	-	2	56

期末は、平成26年3月31日現在

〔役 員〕

項 目	期 首	期 末	摘 要
役 員	12	12	うち常勤理事1名
理 事	10	10	
監 事	2	2	

期末は、平成26年3月31日現在

〔職 員〕

項 目	期 首	期 中		期 末
		増	減	
職 員	31	4	3	32

期末は、平成26年4月1日現在

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。